

笑顔をつくる
ミライをつくる
信大病院

ハミング

NO. 98
2024.06

「信大病院支援事業」へのご寄附のお願い

本院は、大学病院としての機能を最大限に活かし、高度な臨床研究の成果を世界に発信するとともに、最先端医療の推進に努めてまいりました。

将来にわたり、地域の皆様に安全で質の高い医療を提供し続けながら、安定した運営を行うため、私たちの事業にご賛同いただけましたら幸いです。

詳細は病院 HP をご覧ください▶



血液内科長 就任のご挨拶



信州大学医学部附属病院 血液内科 牧島 秀樹

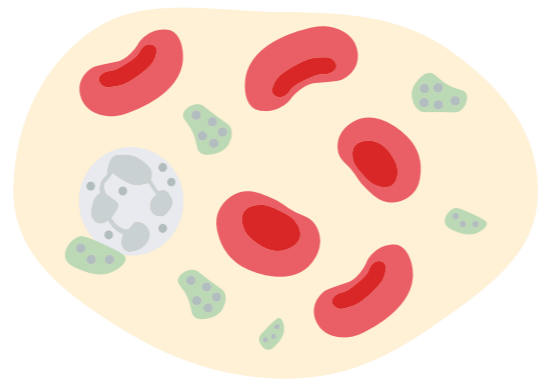
令和6年1月1日付で信州大学医学部附属病院血液内科の科長を拝命いたしました牧島秀樹と申します。南信は飯田市の出身、平成8年に名古屋大学医学部を卒業し信州大学第二内科へ入局いたしました。二内の血液グループで様々な抗がん剤の投与、造血幹細胞移植など診療に携わるかたわら、顆粒リンパ球増多症などの研究を行い学位を取得しました。平成20年から米国クリーブランドクリニックに留学し骨髄系腫瘍のゲノム解析研究を行いました。平成27年に帰国後は京都大学腫瘍生物学教室に在籍し留学中の研究を継続しておりましたが、このたび信州大学病院におよそ15年ぶりに着任することとなりました。この間に血液グループは二内から独立し、腫瘍内科と合併することにより血液・腫瘍内科学教室が誕生し、初代教授である小泉知展先生の後任として私が教室を引き継いでおります。

信州大学病院では主に血液内科の診療を任されており、再生不良性貧血、溶血性貧血など良性疾患を始めとし3大悪性疾患である白血病、悪性リンパ腫および多発性骨髄腫など血液疾患全般にわたり診断・治療に日々取り組んでおります。最近の治療法の進歩は目覚ましく、特に白血病に関しては急性骨髄性白血病（AML）におけるDNA脱メチル化剤とアポトーシス抑制蛋白（BCL-2）阻害剤の併用療法が高齢の患者様において選択されて有効例が多く認められています。また、AMLにおけるゲノム医療の分野ではFLT3遺伝子の塩基配列を確認しております。FLT3に異常がある場合では通常予後が不良であることが分かっていますが、再発・難治例であってもFLT3阻害剤を投与することができるようになり、これ

まで行われていた多剤併用救援抗がん剤治療よりも副作用は比較的穏やかで治療効果が高いとされております。

このような最新の薬剤療法に加えて、移植療法としてこれまで継続に行ってきた造血幹細胞移植療法のみならず、新規にキメラ抗原受容体遺伝子（chimeric antigen receptor: CAR）-T（細胞）療法に取り組んでおります。これは、遺伝子組み換え技術により「がん細胞を認識する抗体の標的抗原認識部位」と「T細胞を活性化する部位」を人工的に融合させたCARと呼ばれる蛋白質をT細胞に発現させることによりがん細胞を特異的に傷害する治療であり、当科では一部のB細胞性悪性リンパ腫に対して行っています。こちらは長野県内では信州大学病院でのみ受けられる治療の位置づけとなっております。

信大病院血液内科では従来の治療から最新の治療まで幅広く行うほか、今後は学術研究活動にも積極的に関わることによって長野県全体において血液診療を支えていく人材を育成していきたいと考えております。今後の当科診療・研究・教育におきましてご指導下さいますよう、なにとぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科長 就任のご挨拶



信州大学医学部附属病院 泌尿器科 秋山 佳之

令和6年4月に泌尿器科診療科長を拝命しました秋山佳之です。皆様に就任のご挨拶を申し上げます。

私は平成18年に東北大学医学部を卒業後、初期臨床研修を経て東京大学医学部泌尿器科学教室に入局し、都内関連病院勤務の後に東京大学大学院へ進学し医学博士号を取得しました。大学院修了後は信州大学へ異動するまで一貫して東京大学医学部附属病院泌尿器科に勤務し、主に尿路悪性腫瘍の低侵襲手術（ロボット支援手術/腹腔鏡手術）や腎移植などの泌尿器外科学の修練を積みました。同時に、泌尿器科領域唯一の指定難病である間質性膀胱炎（ハンナ型）の治療研究開発にも取り組んできました。月曜日から金曜日まで毎日が手術日であり、研究は週末に自己研鑽（趣味）として行う日々が何年も続き、幾度となく心が折れそうになりましたが、最終的には「やりがい」と「家族」が支えてくれました。途中2019年に米国アイオワ大学泌尿器科へ留学し、養子移植免疫による間質性膀胱炎（ハンナ型）の新規モデル動物の作成に成功しその後の新規治療法開発が加速度的に進展しました。将来的には間質性膀胱炎（ハンナ型）の新規治療薬を信大で開発し、世界に発信することを目標にしています。

泌尿器科が担当する領域は非常に幅広く、泌尿器悪性腫瘍、腎移植、下部尿路機能障害、尿路再建、小児泌尿器科、男性不妊、感染症、性機能障害、慢性炎症など多岐にわたります。わたくしたちは、これらの専門領域をできるかぎり多く習得し、安定的かつ高度な地域医療を甲信越地方の皆様へ提供できるように日々鍛錬しています。

また、教室のミッションとして「泌尿

器科アンメットニーズの解決」を目指しています。現代の泌尿器科においては、地域医療体制の整備と維持、難病の病態解明と治療開発、がんの治療成績向上、移植医療の充実など多くの課題が残されています。わたくしたちは、これらの課題に取り組むべく、教室一丸となって臨床・研究・人材育成に邁進する所存です。

この四半世紀における医学分野の発展は目覚ましく、10年前の治療法や研究手法が現在ですでに時代遅れになっているものもあります。わたくしたちは、常に知識・技術をアップデートし日々勉強を続けてまいります。「医者の不勉強は患者さん、社会に不利益をもたらす」ことを忘れずに、皆様のご支援とご協力を賜りながら地域医療の充実ならびに信州大学泌尿器科の発展に貢献していきたいと思っております。

信州大学医学部附属病院泌尿器科では世界標準の治療を提供しており、大都市圏の医療機関と同等以上の医療を受けることが可能です。甲信越地方の皆様におかれましては、どうぞお気軽に当科へご相談頂ければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。



新しいスタッフのご紹介

令和6年4月、今年も新たに総勢274名の
新入職員が入职しました。

これから信大病院で様々な経験を積み、患者さんのために頑張るニューフェイスたちの抱負をご紹介します。



臨床研修医
小田切 大地

はじめまして。今年度より研修医1年目として入职いたしました、小田切大地と申します。

学生の頃病院見学をさせていただき、スタッフの皆さんの優しさに惹かれ信大病院で初期研修を送ることを決めました。

初期研修が始まってから早速多くの業務や手技を経験し毎日一歩ずつ成長を感じており、医師という仕事にやりがいを感じています。

まだまだ未熟な研修医ですので、日々先輩方や同期の仲間、そして患者さんから多くを学び成長し、少しでも早くチームの一員として活躍できるよう精進したいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



放射線部
片瀬 知樹
写真左手前

今年度より診療放射線技師として入职いたしました片瀬知樹と申します。新人技師として多くの先輩方に手厚くご指導していただき、充実した日々を過ごしています。

放射線は被ばくという側面を持つ一方で、X線写真や放射線治療のような医療上の大きな恩恵を併せ持ちます。放射線技師は放射線に関する知識だけでなく、医療の知識や患者さんとのコミュニケーションも必要なスキルになります。私はこうした複数のスキルを身につけ、一人一人の患者さんに寄り添い、質の高い医療を提供できる技師を目指しています。

信州大学病院の一員として、出身である信州の地に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



リハビリテーション部
志田 明日香

今年度より作業療法士として入职いたしました、志田明日香と申します。私は様々な患者さんと

出会いながら勉強をしたいと思い、信大病院を希望しました。新しいことを学ぶ日々ですが、先輩方の優しく丁寧なご指導や患者さんの笑顔に元気づけられながら充実した毎日を過ごしています。

作業療法士は患者さんの生きがいを支える専門家だと感じこの職種に惹かれました。作業療法士の「作業」とは、朝起きて、ご飯を食べて、仕事へ行く、または趣味活動をする、同僚・上司や友人と会う、お風呂に入るなど生活の「コマ」を指していると考えています。その方がその方らしい生活を送れるようリハビリテーションを通してお手伝いできればと思っています。宜しくお願いいたします。



看護部
櫻井 綾乃

4月より看護師として入职いたしました、西8階病棟の櫻井綾乃と申します。

私が看護師という職を選んだきっかけは、信大病院へ入院した際に看護師さんが細やかに気遣い、支えて下さったことです。その経験から、患者さんを人として尊重し、その人らしい生活を送っていただけるような看護を目指し、患者さんに合った看護をどのような状況下においても行えるような看護師になりたいと考えています。未熟ではありますが、患者さんに安心して看護を任せいただける看護師を目指して、常に学ぶ姿勢や技術を高める努力を怠らず、長野県の医療を支える信大病院の一員として日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。



薬剤部
三輪 才佳

今年度より薬剤師として入职いたしました、三輪才佳と申します。

先輩方からの指導を受ける日々の中で、適切で安全な薬物治療の提供に

寄与する薬剤師を目指し、歩み始められたことを大変嬉しく感じています。

信大病院は県内唯一の大学病院かつ特定機能病院であり、薬剤師は調剤業務を始め、医薬品の情報収集や提供、入院支援業務など多方面に活躍の場を広がっています。私はこのような環境で様々な業務に携わることを通じて、薬剤師として何ができるのかを考え、信大病院を利用してくださった患者様や地域の皆様が安心して幸せに過ごしていけますよう尽力していきたいと考えています。

まだまだ至らない点ばかりですが、日々の学びを大切に、患者様や地域の皆様から信頼される薬剤師となれるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



臨床検査部
清水 梨帆
写真左手前

今年度より臨床検査部の検体検査室に配属となりました、清水梨帆と申します。

検体検査室では、臨床検査技師として検査機器を取り扱い検査データを臨床に届け、診療業務の重要な一部を担っているという自覚を持ち業務に取り組んでおります。私はチーム医療の一員として、信頼される臨床検査技師になりたいです。「あの技師さんに聞いてみよう!」と言われるよう、日々臨床検査のエキスパートになれるよう勉強に励んでいきます。

私はまだまだ先輩方にお世話になりながら業務を習得している段階ですが、臨床検査室のアットホームな環境と、信頼できる先輩方に囲まれて日々楽しく過ごしています。これからも信州大学を盛り上げられるよう、頑張ってください！



事務部
三浦 享祐

4月から入院医療費の計算を担当しております事務の三浦と申します。元々リハビリ職の理学療法士として大阪で働いて

いましたが、信州大学附属病院のような地域貢献度が高く魅力的な大病院でリハビリとは別方面で患者さんの手助けとなるお仕事をしたいと希望しこの仕事に就かせて頂きました。

前職では、直接患者さんと一人ひとり心から接するようリハビリを心がけていましたが、医療の仕事を知ると事務のような裏方のお仕事も、患者さんへの重要度が高いと気づきました。

そんな事務のお仕事ですが、初めてな事だらけで右も左もわかりませんが、患者さん方が最初から最後まで安心して病院をご利用頂けるよう、粉骨砕身の覚悟で貢献できるように頑張りたいと思います。

たった3分からできる! 「簡単ストレッチ」のすすめ

第2回

リハビリテーション部 青木 幹昌

まず、イスに座ってできる方法を紹介します。

① 胸開き

手を背中の後ろに組んで、拳で座面を押すようにして背筋を伸ばし、(息を吸いながら)肩甲骨を寄せるように、胸の前を開きます。(息を吐きながら)元に戻り手をほどきます。



Step 1

② 背中伸ばし

(息を吸いながら)手を組んで腕を前に伸ばし、(息を吐きながら)おへそを覗くように背中を丸めます。



Step 2

③ 太もも裏伸ばし(左・右)

イスの前の方に浅めに座り、(息を吸いながら)左脚を前に膝を伸ばし、(息を吐きながら)上体を前に倒します。この時、背筋は伸ばしたまま、できればつま先を起こします。



Step 3

④ 腰回リストレッチ(左・右)

(息を吸いながら)背筋を伸ばし、左手で椅子の背もたれをつかみ、右手は左膝の上に置きます。(息を吐きながら)上体を左に回します。この時、お尻が浮かないようにします。視線は自然に左肩先を見ます。



Step 4

次に、椅子の背もたれにつかまって立ちます。

⑤ 半分スクワッド

足幅は肩幅に開いて、つま先は自然に前を向きます。(息を吐きながら)お尻を後ろに引くように体を沈めます。この時、膝がつま先より前に出過ぎないように注意します。(息を吸いながら)ゆっくりと立った姿勢に戻ります。



Step 5

座ってやるストレッチは、3-5回、左右あるものは交互に3回を目安に、立つて行うものは10-20回程度を行ってみましょう。一度に全てできなくても、一部だけを行っても構いません。自分の呼吸に合わせて、息を止めず、痛みが出ない範囲で動いてゆることが大切です。



文責：リハビリテーション部 青木 幹昌

参考文献：公益財団法人長寿科学振興財団ホームページ

(<https://www.tyojyu.or.jp/>)

バイオバンク信州(BBS)のご紹介

組織採取の様子



信州大学医学部附属病院バイオバンク信州 黒岩 直美 西尾 信哉 上原 剛 古庄 知己

バイオバンク信州とは

「バイオバンク信州(BioBank Shinshu [BBS])」は2019年9月に、信州大学医学部附属病院が「がんゲノム医療拠点病院」に選定されたのを機に設立準備を開始し、2020年8月から運用を開始した新しい医療機関併設型バイオバンクです。

バイオバンクとは、患者さまの同意のもとでご提供いただいた血液、組織および診療情報を研究のために保管・管理するとともに、国内外の研究者に分譲することで、医学・薬学研究に活用させていただく仕組みのことです。現在、日本全国では約60施設のバイオバンクが運営されています。BBSはできて間もないバイオバンクですが、その先進的な取り組みが評価され、日本を代表する14のバイオバンクからなる「バイオバンク・ネットワーク」に参画しています。

なぜバイオバンクが必要なの?

近年、医学・医療は大きく発展しています。以前は治療法がなかった病気も現在では有効な治療法が開発されるようになりました。その一方で、未だ有効な治療法が見つからない病気もあり、苦しんでいる患者さまも少なくはありません。また、同じ病気でも患者さまによって治療薬の効果・副作用が異なるため、今後は一人ひとりに最適な医療(オーダーメイド医療)を提供することが期待されます。

このような医療の発展のためには、基礎研究が不可欠ですが、一人の研究者が集めることのできる試料や情報には限りがあります。そこで、バイオバンクに集められた試料・情報を活用した研究がますます重要となってきています。バイオバンクでは、患者様から同意を得てご提供いただきました試料(組織、血液など)および診療情報などを保管・管理するとともに、国内外の研究者が研究に活用できるように分譲を行っております。

バイオバンク信州 ご参加の流れ

患者さま

1 説明を受ける

担当医師、もしくはバイオバンク担当者が説明いたします。疑問点は遠慮なくご質問ください。



2 同意書にご署名

ご納得いただけましたら同意書にご署名していただきます。

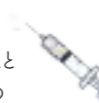


人々の健やかな未来のために
新たな予防法・治療法の
開発へのご協力を
お願いいたします。



3 ご提供いただく

〈血液を提供していただく場合〉
通常の診療のために必要な採血と同時に、バイオバンク信州のための血液を余分に採取させていただきます。



〈組織を提供していただく場合〉

検査や手術の際に採取された一部を保存します。バイオバンク信州のために組織が余分に採取されることはありません。



〈尿・便・唾液などを提供していただく場合〉

非侵襲的(体へのご負担がない方法で)に採取できる試料は、検査や治療とは関係なくお願いする場合があります。



バイオバンク信州

4 試料と診療情報の保管

個人を特定できる情報ではなく、バイオバンク信州への登録時に発行される「バンク登録番号」を使用し、セキュリティのかかったコンピュータ・サーバーの中で管理されます。



5 研究を行う際の審査と手続き

倫理委員会による厳正な審査を受けて承認された医学・薬学の研究のために、試料と診療情報の提供をします。

6 試料の提供

信州大学や、国内外の大学や研究所等および製薬企業等に提供され様々な研究に活用されます。



初診予約方法のご紹介

信大病院では、地域の医療機関から紹介された患者さんをスムーズに受け入れるための取り組みを進めており、そのひとつとして、今年2月に初診の予約方法を変更いたしました。

今回の変更は、信大病院に紹介していただく地域の医療機関の医師・スタッフの皆様の負担を減らすことが主な目的ですが、紹介状をお持ちの患者さんからも初診の予約ができます(※)ので、あらためて紹介させていただきます。

※血液内科のみ、紹介元の医療機関からの予約が必要です。

また以前から外来予約センターのお電話がつながりにくく、大変ご迷惑をおかけしております。特に、午前中や夕方は非常に電話が混みあいます。

お急ぎでない場合には、上記以外の時間でお電話いただけますと大変助かります。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



信大病院ホームページでも、
予約方法を確認できます。

患者さんからの初診予約の流れ

- ① お手元に紹介元医療機関からの紹介状(診療情報提供書)をご用意ください。
- ② 外来予約センター(0263-37-3500 平日9時~17時)にお電話ください。
- ③ 予約担当者が予約をお取りします。※確認にお時間をいただく場合があります。
- ④ 予約日当日にお越しください。(紹介状をご持参ください。)

患者さんからの初診予約

<https://www.hp.md.shinshu-u.ac.jp/outpatient/newpatient.php>



電話番号表 (市外局番 0263) **患者さん専用ナビダイヤル：0570-00-3010** ■ 代表番号：35-4600

■ 医事課

収入係	37-2763
入院係	37-2759
外来係	37-2757

■ 医療支援課

外来予約センター	37-3500
患者サービス係 (診断書・労災)	37-2762

■ 患者サポートセンター

総合医療相談室	37-3370
医療や治療についての相談	37-3370
がん相談	37-3045
移植に関する相談	37-2930
医療福祉相談	37-3370
こころの相談	37-3370
セカンドオピニオン外来受付	37-3111
栄養相談	37-2764
薬の相談	37-3013
医事相談	37-2762

地域医療連携支援室	37-3370
くすりの相談室	37-3013
高度救急救命センター	37-2222
先端細胞治療センター (分子細胞診療室)	37-3220
肝疾患診療相談センター	37-2922
生殖医療センター	37-3106

相談窓口

受付時間：月～金(祝除く)
9時～17時

編集後記

木々の緑も深みを増してまいりました。当院もたくさんの新しい職員迎え、気持ちも新たに新年度が始まりました。本号では、新しく就任した診療科長、新入職員を紹介いたしました。また、座つてできる「簡単ストレッチング」もぜひお試しください。

今年も広報誌「ハミング」を通じて、当院の取り組みや最新の情報発信に努めてまいります。皆様から、ご感想やご意見等をお寄せいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

広報企画室員 高橋 良恵

あなたの自慢の写真で「ハミング」の表紙を飾りませんか？ 写真を募集しております！

お名前・写真のタイトルをご記入の上、
byouin_soumu@gm.shinshu-u.ac.jp

へお送りください。

写真は2MB以上5MB未満のjpgデータ

【お問合せ・応募宛先】 信州大学医学部附属病院 総務課
総務係 TEL:0263-37-3410 ※応募はメールのみ受付